

いい顔は何より



愛知県立岡崎東高等学校長

阿部 博志 氏

教育随想

学校には、子供たちと先生が一緒に元気がよく活動する姿がよく似合います。そんな時の顔は、みんないい顔です。

最近、先生方は少々お疲れ気味です。疲れた顔でそれ会議だ、資料づくりだ、と走り回っています。学校は本当に忙しくなって、なかなかいい顔をしておられないようになってしまいました。できるだけ子供の近くにおいて、その活動の様子から心の動きを感じ取ることの大切さはわかっているのに、忙しい環境にどっぷり浸かって動こうとしない嫌な自分に驚くことがあります。子供が好きで教師になったはずなのに、その子供に目がいかなくなつた自分、いい顔を忘れかけている自分に気づき、愕然がくぜんとすることもあります。忙しさから不平不満や愚痴ばかりが口



平成14年12月1日

12月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想 1
愛知県立岡崎東高等学校長 阿部 博志氏
- この人に聞く 2
唼酒師 塚田 郁子氏
- 羅針盤 2
六ツ美中学校長 藤田 吉信
- ふれあい 3
細川 小 宮村 礼
竜海 中 岡村 直美
- 特集 4
広げよう 国際交流の輪
~ニュージーランド クウランガ市訪問~
- お知らせ 6
- フォト・ヒストリー ... 8
斬新な切妻屋根と
葉の花色の学校 (平成9年)
- この本を 8

をついて出る自分にあきれてしまうことも...

先生が生き生きはつらつ、明るく元気がよく、いつもいい顔をして学習に運動に頑張っていると、子供も先生の思いを肌で感じ、清々すがすがしい気持ちになってやる気がわいてくることでしょう。毎日が楽しくなって、先生に負けないよう頑張ろう、ひいては、あの先生のような大人になりたい、と思う子どもでくるでしょう。そんないい顔の先生方で溢あふれている学校の子供たちは幸せです。先生方の素敵な姿を見て、知らず知らずの

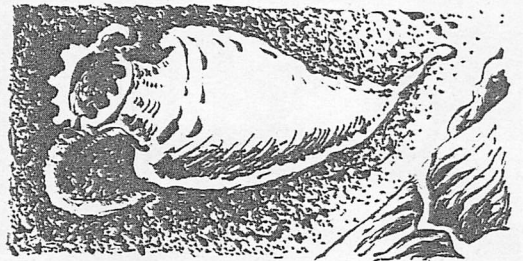
うちに人間としての生き方を教えられ、すすくと育ちます。

現実の教育現場は、様々な苦勞があり、こんなに単純なものではありません。しかし、先生にとっても子供たちにとっても、いい顔は素敵なのです。少なくとも嫌な顔よりいい顔で子供たちに接したいものです。先生のいい顔、子供たちのいい顔は、子供たちにとって、先生にとって、何よりです。

(あべ ひろし)



ふるさとシリーズ この人に聞く



味と香りの表現力

唎酒師

塚田 郁子 氏

「お客様に自信を持ってお酒を勧めたいという思いが、唎酒師きまどけしの資格を取った動機です。」

と、古い酒蔵の中でこやかに話される塚田さん。塚田さんは、丸石酒造に入社して十八年、会社で唯一唎酒師の資格を持つておられる方である。

「普段は事務の仕事をしているのですが、店先や電話等でお酒についての問い合わせが多くあります。蔵人びとは、酸度や糖度など専門的な言葉で味を表現しますが、一般の方には

理解しづらいものです。銘柄の個性を分かりやすい言葉で表現できたら、お客様のためにも役立つし、自分の自信にもなると思っただけです。」

この思いから、一九九九年に唎酒師の資格を取得された。唎き酒とは、香りをかいだり口に含んだりしてその酒の特徴を言葉で表現することである。試験は酒匠研究会連合会が年一回主催している。酒類全般・日本酒に関する知識を問う筆記試験と、実際に四種類くらいの酒を唎き酒する実技試験があるそうだ。

「試験に向けて、いろいろなお酒を口に含んでは、言葉で表現するトレーニングをしました。思ったことを言葉で表現することの大変さを知りました。」

唎酒師としての喜びや苦労をお聞きました。

「お客様によつて答え方が異なつてはいけませんので、このお酒はこんな言葉で説明するという資料を自分で作っています。私が勧めたお酒がおいしかったからと、お店に何度も足を運んでくださるとうれいすね。なぜかしら年配の方からの指名が多いんですよ。」

と、微笑ほほえまれる。「もつと言葉を磨いて、話を聞いて

ただけでそのお酒の味わいやイメージが浮かぶような表現力を身につけたいですね。」

今後の抱負を力強く話される。帰り際、唎き酒体験をさせていだいた。「芳醇ほうじゆんな香り」「まろやかな舌ざわり」「後味さわやかな飲み口」：言葉による表現は難しい。

表現力が求められているのは教育界でも同じである。

氏 名 つかだ いくこ
住 所 真伝町前田四十一二十



話し方を磨く

六ツ美中学校長
藤田 吉信

子供たちが真剣に顔を向け、話を聞いてくれると、つい自分の話し方に満足してしまう。最近パソコンに向かって仕事をすると先生も多く、話し方の表情が乏しくなっているように思えてならない。子供にしても同様である。メールや電話でのコンタクトは取れるのであるが、面と向かつてのコミュニケーションがうまくできず、友人ができないで孤立してしまう子供が増えている。

この時代を見越してか、大先輩のA先生は「教師たるもの話術を磨け。一つの話題で一時間でも話ができる技量と見識を持って。それには、間の取り方、表情、声色の使い分けを落語に学べ」と繰り返し諭された。また、落語の高座見物を薦められ「芸は身銭を切つて習得するものである」と言われた。A先生の教えを若



認められ、褒められ、 伸びゆく子

細川小 宮村 礼

「学校新聞に誰かの作文が載るかもしれないよ。」

という一言で、いつもなら「えっ、作文、やだあ」というA男の心が動いた。平仮名が多く読みにくかったが、A男の素直な気持ちがよく表れた作文を書いてきた。いつにないA男のがんばりを見て、学年の代表として彼の作文を選んだ。みんなが帰った後、一緒に文章を一つ一つ確認して、少しずつ書き直していった。作文がよくなるごとにA男の顔に笑みが浮かんできた。書き終えたとき、「すごいいい作文が書けたね。」

と褒めると、いつそうA男の笑顔に磨きがかかった。

「学校新聞に自分の作文が載るのを心待ちにしていたA男は、

「学校新聞は、まだ。」

と、連日のように私のところに聞きに来た。やっとの事で、その新聞が彼の手に届いたときは大喜びだった。学級のみんなからも「すごい」と褒められ、照れくさそうにしていた。それから、A男は、とても意欲的

に作文に取り組むようになった。子供は、認められ、褒められて、伸びていくことを実感した出来事であった。



素直な気持ちで

竜海中 岡村 直美

「盲導犬募金お願いします。」

今朝も元気な声が聞こえる。盲学校の授業交流の際に盲導犬募金活動を紹介され、「わたしたち交流クラス中心に本校でも」と活動が始まった。

四月、交流委員決定の際に、A子が立候補した。昨年度自分勝手な行動や発言があり、注意をする機会が多かったA子である。部活動でも仲

間との関係を第一に考える私と何度も衝突した。

「みんなのために何かやりたい。」と言ったA子の、今までの自分と変わりたい、変わって何かをしたいとの思いが強く伝わってきた。彼女の心根にある優しさに期待して、励ましながら、任せることにした。

七夕交流では、「盲学校にも短冊を持っていこうよ」「飾りも作ろうよ」と積極的であった。文句一つ言わずに大きな竹を盲学校まで担いでも行った。

募金活動の中、

「お願いします」もだけれど、「ありがとうございます」も大きな声で言えるといいね。」

と言うと、「そうだね。そっちの方が大事な言葉だもんね」と、素直に笑顔で答えた。

みんなのために活動したことが、結果としてA子の変身の一步になった。

あと半年の中学生生活を仲間と共に優しい笑顔で過ごせたらと願う。



い世代の先生方に伝えたいと思う。

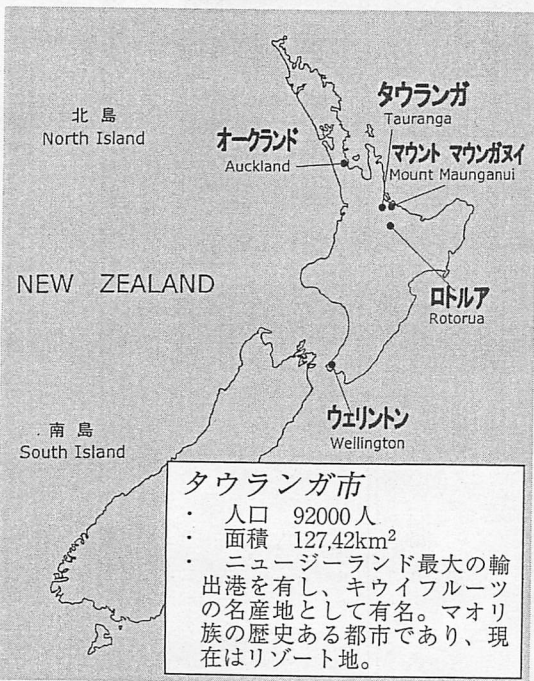
ところで、私事で恐縮であるが、私が取り組んだ「話し方」の修業を述べさせていたたく。二十数年も前の十二月初旬に全国教員英語弁論大会決勝が行われた。今はもう行われていない。スピーチ原稿を考え、推敲し、自分の英語になるまで練習して覚えることが英語修業の目標であった時期が、このころである。決勝に残るには、「なるほど」と思わせる内容と、ユーモアと英語力がそろうことが必要である。テーマを選ぶために、授業や生徒との何気ない会話や、できごとに幅広いアンテナをめぐらす。こうした経験は、生徒との会話が自然にできることに生かされたように思う。

イントロ三十秒で伝えたい話の概要を知らせるには、毎回胃の痛む思いで想を練る。このことは、授業を組み立てる上でも基本中の基本である。子供の心を引きつけて授業に誘う「話し方」、言い換えると話芸を磨くことにより楽しい授業や、ほっとする時間を生み出すことに結びつくと考える。そして、最後にユーモアを忘れないでいただきたい。

「先生、サプーイ」と言われた駄洒落がいつもの落ちである。

広げよう 国際交流の輪

~ニュージーランド タウランガ市訪問~



本年度「岡崎市中学生生徒国際交流事業」としてニュージーランドのタウランガ市へ、第一回の中学生使節団が派遣された。「新たにオセアニア圏での研修をさせたい」「マウント・マウガヌイ、カレッジが日本人生徒の英語研修の実績を上げている」という理由から、このカレッジのあるタウランガ市が選ばれた。英語圏への中学生派遣はこれで、ニューポートビーチの四名に、今回の八名を加え、合計十二名となった。

十月七日から十七日までの十一日間、タウランガ市の家庭で、ホームステイしながら、カレッジで英語研修をしたり、市内の小中学校の子供たちと交流を深めたりした。初めはたどたどしい英語でしか話せなかった使節団も、最後のパーティーでは堂々と英語で話せるまでになり、充実した研修を終えてきた。

ホストファミリーと初めての出会い

期待と不安の中、ホストファミリーと出会う。



▲ タウランガ市長を表敬訪問する中学生使節団

- | | | |
|-------|--------------|-------------|
| 〈生徒〉 | 安藤 貴洋 (美川中) | 鈴木 理恵 (南中) |
| | 宮川 真緒 (竜海中) | 宮脇 和宏 (葵中) |
| | 小林 夕香理 (福岡中) | 藤井 康友 (東海中) |
| | 川澄 晶子 (河合中) | 竹内 純也 (常磐中) |
| 〈団長〉 | 江村 力 (市教委) | |
| 〈副団長〉 | 福田 貴子 (井田小) | |



英語で臨時案内役

マオリ族民族資料館で、案内役のシャノンさんと共に観光客に英語で案内スピーチをする。

マウント マウンガヌイ カレッジでの英語研修

パム先生の楽しい授業。スピーチや日記、ポスター作り、調理実習などを通して英語の力を高める。



マウント マウンガヌイ中学校を訪問

日本文化を紹介。マウント マウンガヌイ中学校の生徒に折り紙を熱心に教える。

タウランガ市内のオマヌ小学校を訪問

グループに分かれ、折り紙やお手玉、こま回しなどを行い、交流を深める。特に皿回しが人気を集める。



さよならパーティー

全員でマオリ族の代表的な歌「ポカレカレアナ」を歌う。ホストファミリーとの生活や研修を思い、涙する。



私たちは、毎日、午前は三時間休みなしの英語学習の特訓を受けました。これはとても厳しいものでしたが、英語が少しずつ聞こえるようになり、力が着実についていくのを実感しました。午後は、市長さんや小中学校の訪問をしました。副市長のブラウンレスさんは、優しくユーモアのある方でした。オマヌ小学校とマウント マウンガヌイ中学校訪問では「さくら」と「ふるさと」の合唱をし、また、皿回し、お手玉、折り紙などの遊びを通し、日本の文化を紹介しました。タウランガ市訪問の目標である「ニュージーランドの小中学生や中学生に日本のよさを知ってもらおう」が十分に達成できたと思えました。

帰国報告会でのあいさつより

(南中三年 鈴木 理恵)

お知らせ

● 教育最新情報

○地域の教育力を生かした授業
 地域の方々と積極的な連携で、効果をあげている小学校の実践例を紹介する。

「とっておきの話」 細川小学校
 細川学区は、多くの史跡が残り、三河万歳やチャラポコ太鼓などの芸能が伝承されている。また、地域には、その道の達人といわれる方など、人材が豊富である。

細川小学校では、こうした方々を講師に招き「とっておきの話 おじさんおばさん教室」と名づけ取り組んでいる。講座のねらいは、「話を聞く中で、さまざまな生き方にふれ、見方・考え方を広げる」「保護者・担任以外の地域の方とかかわる機会を設け、大人からのほたらきかけの場と



する」の二点としている。講座は次のとおりである。

- ア 職業に関する魅力ある話
- ① 手作りパンの話
 - ② 動物病院の先生の話
 - イ 特殊な技能に関する話
 - ③ よく飛ぶ紙飛行機の話
 - ④ 手作りかごの話
 - ⑤ ミニテニスの話
 - ウ とっておきの人生体験
 - ⑥ マングの話
 - ⑦ 中国・フフホトの話
 - ⑧ 将棋の話
 - ⑨ 昔の遊びの話

- また、講座のすすめ方は、次のようである。
- ① 四年生から六年生に受講希望を取り、縦割りのグループを編成する。
 - ② 質問事項などを事前に書かせ、講師と担任と児童で打合せを行う。
 - ③ 話を聞いた後お礼の手紙

を書き、講師に届ける。

子供たちは、この講座をとっても楽しみにしており、真剣に話に聞き入っている姿を目にすることができるとのこと。

講座を通して、子供たちは地域の方々とかわり、学び、そこに暮らす人の思いにふれる。この取組を通して、子供たちに豊かな人間性が育ってきたことを強く感じる。

さらに、ふるさとを思い、ふるさとを愛する心も育ち、人生の土台を築きあげることができつつあると確信している。



■岡崎市教育委員決定

- | | |
|-----|------------|
| 委員長 | 仲井さち(前列左) |
| 同職務 | 寺部 暁(前列右) |
| 代理者 | |
| 委員 | 鈴木聰一(後列右) |
| 委員 | 杉浦壽康(後列左) |
| 教育長 | 藤井孝弘(後列中央) |



● ハートピア岡崎だより

○判定会

不登校の子が自ら「学校に戻ります」と表明できると、学校復帰に近づくが、そこ

はいくつかの壁を越えなければならぬ。心理的な壁は、最も大きい。ここで、本人と保護者に対して、臨床心理士から助言をいただく会をもつ。これを判定会と呼んでいる。

中三A子さんは、平成十三年十月から通所を始めた。学業成績は優れていたが、対人関係がうまく結べず、情緒不安の状態であった。

週に一日程度の通所であり、担当指導員と一対一の関係が中心だったが、卓球や行事などで、他の指導員や友達とかかわりを大切にしていた。新年度に入り、友達との

かわりが広がるにつれ、同年のB子さんと親しくなり、一緒に学校の適応教室に行く話も出るようになった。

A子さんの関心事は進学で、六月からは適応教室への登校を始め、夏休みの研究も共同で取り組むまでになった。

無理をしている心配もあったが、九月に入っても、順調に登校ができた。そこで、担当指導員は、A子さんに本所の登録を取り消す話をしたところ、「お願いします」という返事が返ってきた。依然として対人関係の不安はあったので、ここで判定会を設定することにした。

臨床心理士から、適切な助言をいただき、親子ともども優しく肩を押されたように、学校に戻っていった。

●表 彰

◆第二十四回中学生非行防止セミナーコンクール
 県警察部長賞 矢中 土田 昌宏
 県教育委員会賞 附属中 上田 仁美
 県少年補導委員会連合会長賞
 岩津中 市川 久乃

◆第六回東海小学校バンドフェスティバル
 グッドサウンド賞 竜美丘小学校

◆第二十九回岡崎市小中学生
 作文コンクール

●最優秀賞
 三島小六年 池田まなみ
 南 中三年 種島 香澄

●優秀賞
 生平小二年 橋本 大輝
 六南小四年 都築眞理子
 河合中一年 原田 瞳
 岩津中二年 小松 亜季



▲岡崎市小中学生作文コンクール 最優秀賞朗読

第41回岡崎市小学校陸上競技大会

種目	優		勝		記録
	男	女	男	女	
5年・100m	榊原 康政	内田 千尋	大樹寺	三島	13"8
	鈴木 康仁	新美 綾乃	矢作東	藤川	14"8
1000m	鈴木 康仁	藤田 拓也	矢作東	井田	13"3
	新美 綾乃	岩月 沙耶	藤川	緑丘	14"2
80mハードル	藤田 拓也	市川宗一朗	井田	緑丘	12"8
	岩月 沙耶	花岡 紗耶	緑丘	矢作西	13"5
1000m	市川宗一朗	鈴木 雄貴	矢作西	大樹寺	3'12"0
	花岡 紗耶	岡松 沙希	大樹寺	大樹寺	3'25"0
走り幅跳び	鈴木 雄貴	岡松 沙希	大樹寺	大樹寺	4m90
	岡松 沙希	岡松 沙希	大樹寺	大樹寺	4m41
走り高跳び	為ヶ谷 優	河澄 真子	三島	大門	1m40
	河澄 真子	近藤 大喜	大門	六名	1m25
ソフトボール投	近藤 大喜	西村 美徳	六名	連尺	65m63
	西村 美徳	三浦 柊原	連尺	大樹寺	56m45
4×100mR	三浦 柊原	岡元 岩月	大樹寺	緑丘	56"1
	柊原 鈴木	岩月 村松	大樹寺	緑丘	58"3

●団体総合成績

	優勝	2位	3位
男子	大樹寺	上地	六名
女子	緑丘	上地	大門

第35回岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	優勝		2位		3位	
	男	女	男	女	男	女
陸上競技	六ッ美	六ッ美	矢作北	城北	城北	...
	六ッ美	六ッ美	甲山	城南	城南	...
バスケットボール	甲山	東海	城北	葵	竜海	竜海
	東海	葵	甲山	竜海	竜海	...
バレーボール	矢作北	矢作北	竜南	六ッ美	竜海	竜海
	矢作北	六ッ美	甲山	竜南	竜南	...
ソフトテニス	河合	美川	美川	竜海	城北	城北
	美川	常磐	常磐	矢作北	城北	城北
卓球	六ッ美北	六ッ美	矢作	六ッ美	城北	城北
	六ッ美	六ッ美	南	矢作	六ッ美北	六ッ美北
体操競技	矢作北	矢作北	南	竜海
	東海	東海	南
剣道	六ッ美北	竜海	東海	甲山	甲山	...
	竜海	六ッ美北	東海	甲山	甲山	...
ハンドボール	葵	葵	六ッ美	竜南	美川	...
	六ッ美北	六ッ美北
軟式野球	南	南	竜南	城北	城北	...
	南	南	矢作北	城北	城北	...
柔道	甲山	甲山	矢作	矢作北	竜海	...
	甲山	甲山	矢作	矢作北
サッカー	甲山	南	福岡	新香山
	甲山	南	福岡	新香山
水泳	竜海	竜海	岩津	葵
	城北	城北	甲山	南

◆平成十四年度CBCこども音楽
 コンクール(最優秀賞のみ)
 ●東海地区大会
 ・重奏の部 城北中学校
 ・管楽合奏の部 岩津中学校
 ・弦楽合奏の部 城北中学校
 ●県大会
 ・重唱の部 矢作北中学校
 ・合唱の部 矢作北中学校

◆第二十回岡崎創意くふう展
 中部経済産業局長賞
 榎石小四年 平岡 拓
 県知事賞 葵中一年 遠藤 寛士
 日本商工会議所頭賞
 六名小四年 福浦末乃理
 市長賞 新馨中一年 福永 巧也
 市議会議長賞
 奥殿小六年 宇野遼太郎

第46回愛知県統計グラフコンクール
 (◎は全国コンクール特選、○は入選)

小学校1年～2年の部 金賞

眞野 翔	連尺 小	2年
織田悠里江	矢作東小	1年
石川花菜子	矢作東小	1年
奥野 誠也	矢作東小	1年

小学校3年～4年の部 金賞

影山 七香	連尺 小	4年
奥野 貴一	矢作東小	4年
岩月 智也	矢作東小	3年
柵木 悟	六美南小	3年
○吉田英里佳	矢作東小	3年

小学校5年～6年の部 金賞

○植田 美咲	竜美丘小	6年
和田菜々子	矢作東小	6年
○鬼頭沙友子	竜美丘小	6年
○太田 瑞希	矢作東小	5年
斉藤 藍	矢作東小	6年

中学生の部 金賞

松井友里恵	竜海中	3年
○見並 克俊	竜海中	1年
◎山下恵理奈	竜海中	2年
○荒井 浩介	竜海中	2年
○前川 浩隆	新香山中	1年

パソコンの部 金賞

○稲嶋 真紀	城北中	1年
細井 万愛	城北中	1年
○井上 リサ	羽根小	5年
後藤 沙織	羽根小	5年
山中さゆ紀	山中小	4年
鈴木 大司	山中小	4年
内田 祐一	山中小	4年

◆ある食品工場の挑戦
 ●優秀賞
 覚教材コンクール
 城北中 今村 昌平
 ◆平成十四年度全国自作視聴
 覚教材コンクール

都築(美川中) 浅野(前竜南中)
 中根(北中) 志村(岩津小)
 田中(美川中) 内藤(大門小)
 太田(北中) 森下(前北中)
 都築(美川中) 浅野(前竜南中)

●入選
 「イチゴ作り農家をたずねて」
 小境(矢作中) 河合(井田小)
 佐藤(前美南中) 村田(甲山中)
 倉地(連尺小) 千賀(六名小)
 岡戸(山中小)
 「蘇れ！奇跡の湿地」
 松坂(矢北中) 鶴田(三島小)
 小野田(南中) 柴田(前六南小)
 服部(東海中) 山口(常盤小)
 吾妻(矢南小)

・カ
ツ
ト

梅園小 山本健治



斬新な切妻屋根と 菜の花色の学校

(平成9年)



写真提供 六ツ美西部小学校

全国的な少子化の波は、岡崎市にも及び、小学校では昭和五十八年、中学校では昭和六十三年にその傾向が現れ始めた。しかし、当時の六ツ美北部小学校区は全国や市の傾向とは異なり、児童生徒数が増加を続け、県下随一のマンモス校となった。それを解消するため、平成九年、市内四十二番目の小学校として六ツ美西部小学校が新設された。

校舎は市内の他校と異なり、切妻屋根で、壁面が菜の花色という斬新なものであった。新学習指導要領の開始五年前のこと、斬新な校舎とともに、地域と連携をした新しい実践が六ツ美西部小で産声を上げた。



- * 至福の境地 曾野 綾子 ¥1600
講談社
- * 聖家族のランチ 林 真理子 ¥1500
角川書店
- * 読書力 齋藤 孝 ¥700
岩波新書
- * 吉本興業から学んだ「人間判断力」 木村 政雄 ¥1300
講談社

- * お山の大将 外山滋比古 ¥2400
みすず書房

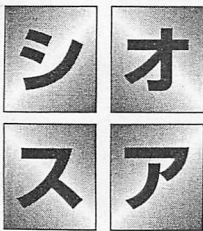
不思議な魅力である。読み進むうちに、にやりとさせられ、なるほどと納得し、読後、爽やかな印象を受ける。正に外山ワールド、読む者の心を捉えて飽きさせない。

本書で著者は、身近な出来事を題材に、人間を温かく分析し、人生訓とも言うべき多くの示唆を与えてくれる。特に学校教育への指摘は、よく現場の状況を踏まえており、多くの共感を呼ぶ。読んでみると、冬研での著者の飄々とした語り口が思い浮かび、思わず引き込まれてしまう。

落ち着きのある教室が生まれるという。授業開始前の十分間を利用して行う「朝の読書」。この実践をする学校が、全国で約四分の一に達した。図書館や学級文庫の充実など読書環境の整備に加え、教師が読書に親しむ姿も大切だ。自信を持って良書を薦められるような教師になりたい。

試運転したストーブ。急な冬の訪れにあわてて出して暖をとる。

今年、季節が早く進み、寒さも秋を通り越した。季節の変化に大人でもついていくのがやっとなのである。いわんや子供をや。そんな今年ももう終わる。来年こそは平穏な季節の中で学習や運動をさせたい。



愛読書は、「ハリー・ポッター」と学校の読書週間に二冊の新刊本を持ってくる子。学習用具や部活の荷物は重いと云うのに、本の重さはいとわないのが不思議である。図書館の「はだしのゲン」に読みふける子や授業で習った宮沢賢治に興味を持つ子。どの子もじっくり心を耕してほしい。

スピーチで涙ながらにさようならをする中学生使節団。ニュージランドの人々の温かさの中で過ごした日々を彼らは忘れないだろう。生きた英語を学び、国際感覚を身に付けた中学生が、いつしか世界中の多くの人々との交流の架け橋となることを期待したいものである。